

## ライセンス認証作業方法の変更について

平成29年度の営繕積算システムRIBC2 Ver.6より、これまで単体で提供していたライセンス認証システムをRIBC2の各システムに統合し、各システムを起動し直接ライセンス認証・解除をおこなう方法へと、変更致しました。

この変更に伴い、ライセンス認証システムの単体での提供は終了とさせていただきます。ご契約のシステムをインストール後、直接ライセンス認証を行ってご利用ください。

なお、平成29年度の「ユーザーIDのご案内」を元に作業を行って頂くことや、インターネット接続を行えない場合の方法(代理認証)等は、従来と同じです。

<平成28年度>	<平成29年度>
インストール作業	インストール作業
ライセンス認証システムとご契約のシステムのインストール	ご契約のシステムのインストール
ライセンス認証作業	ライセンス認証作業
<u>ライセンス認証システムを起動し</u> 、ライセンス認証を行います。	<u>ご契約のシステムを起動し</u> 、ライセンス認証を行います。
ご契約のシステムの起動	ご契約のシステムの起動
ライセンス認証が行われている場合は、そのまま起動できます。 ライセンス認証が行われていない場合は、 <u>別途ライセンス認証システムを起動してライセンス認証を行ってから</u> 、起動します。	ライセンス認証が行われている場合は、そのまま起動できます。 ライセンス認証が行われていない場合は、 <u>自動的にライセンス認証画面が開きますので</u> 、ライセンス認証を行ってください。

※詳細は「セットアップ&ライセンス認証マニュアル」をご参照ください。

※Ver.6をインストールすることにより、自動的に旧バージョンはアンインストールされます。

※RIBC2 Ver.6のシステムでは、RIBCのライセンス認証をおこなうことはできません。(RIBCは平成27年度をもって提供を終了致しました。)